

## サプライヤーインタビュー ①



ニトリグループの主力商品でもある、Nクール・Nウォームなど多くの寝具・寝装品やリビング商品の製造を担っているサプライヤーで、20年以上前からお取引があります。ニトリグループが開催しているNWC活動にも積極的にご参加いただき、「モジュール生産や、設備改造による生産効率改善」などを提案。業界でも数少ない改善・改革を続ける企業です。

### ニトリグループとの関わりのなかで、会社として成長できたと感じたことがあれば、教えてください。

創業した当時は小さなOEM製造会社でしたが、ニトリとともに成長し、今や複数の工場・システム・管理体制を備えた生産型企業に成長しました。ニトリは私たちにとって知識と行動の模範となっており、「ピンチをチャンスに変える方法」「ビジネスモデル」「人材育成」「社会的責任と使命の遂行」など多くのことを学びました。20年以上、開発から生産、品質管理の面でニトリにリードしてもらったことを嬉しく思っています。

### ものづくりをする上で、心がけていることを教えてください。

商品の製造には、起こりえるさまざまな問題を予測し、事前に準備をすることが非常に重要です。製造技術の改善により品質を安定させ、更に全面的な人員・設備の管理を行うことで納期を守る。そして、製造工程を常に見直し改善・改革することでコストの削減を実現しています。また、環境・社会課題に配慮した取り組みとして、オーガニック素材やリサイクル素材（ポリエステル繊維）を使用した商品提案を行っているほか、従業員の福祉・人権・教育にも注力しています。これらサステナビリティに関する分野は、既に企業文化として確立していると感じます。

### なぜNWCに参加しようと思いましたか。

会社が成長していくにつれ製造工場が拡大しましたが、管理者の経験や能力が統一されておらず、それぞれの工場で管理方法やレベルにムラができてしまいました。私たちの信念である「製造能力を向上させ、価値のある商品をお客様に提供すること」を達成するためには、会社全体で標準化された管理方法を確立し、品質・コスト・納期が担保された工場の運営をすることが必要でした。そこで、ニトリが開催しているNWC活動に2013年に初めて参加。2021年度まで毎年連続で参加し（合計9回）、「モジュール生産や、設備改造による生産効率改善」など、業界でも数少ない改善・改革を続ける企業になりました。

### NWCに参加してよかったこと・成長したこと・変化したことを教えてください。

はじめは、やり慣れた業務手順や方法が変わることに抵抗を示す従業員もいましたが、研修を続け、良い取り組みを表彰するなど、参加意欲を高める活動を行いました。その結果、従業員一人一人に「問題を発見し、改善する」という意識が徐々に浸透してきました。今では「従業員全員が問題点を発見し、改善・改革を行う」ことが企業文化として根付き、人材育成・会社の成長へとつながっていると感じます。NWCは単なる製造工場の改善ではなく、会社全体の文化の改革となりました。ともにニトリの2032年のビジョンを達成するために、サプライヤーとしてこれからも改善と努力を続けていきます。

### NWC(Nitori World Circle)活動とは

志を同じくするメンバーでサークルを結成し、日頃の業務から問題点を発見、改善・改革を推進する活動で、今年16年目を迎える歴史ある活動です。本活動は世界各地のニトリグループ拠点で行われ、現場の声を直接経営陣に提言できる場として重要な役割を果たしています。2021年度は、国内外合わせて全374チームが参加。そのうち30チームが海外サプライヤーからのエントリーで、サプライヤーが主体となり改善・改革に取り組んだ事例が数多く発表されました。



海外NWC（2019年開催の様子）  
※2020年度・2021年度はリモート開催

## サプライヤーインタビュー ②



ニトリグループのソファ・オフィスチェア・座椅子などの製造を担っているサプライヤーで、2004年からお取引を開始。ニトリグループは、2016年に本サプライヤーに専門技術支援チームを設立し、2019年まで月1回の現地指導（有償技術支援）を行いました。

### ニトリグループとの関わりのなかで、会社として成長できたと感じたことがあれば、教えてください。

ニトリとの関わりを通して、わが社は急速な成長を遂げています。2010年から2017年で、工場の敷地面積は約5倍に拡大しました。また、営業収入は同期間で約9億元増加し、2017年には上海の証券取引所で上場することができました。持続可能な未来のためには、まずは会社がしっかりと利益を生み出すことが大前提であると考えています。2020年には、わが社の2045年までの発展戦略ビジョンを確立。このビジョンは、ニトリとも共有をし、更なる売上高と出荷金額の向上を目指しています。わが社にとって、ニトリは非常に大切なパートナーです。

### ものづくりをする上で、心がけていることを教えてください。

主に心がけていることは、「最高の品質をお客様に提供すること」「研究開発の革新」「生産効率の向上」です。また現場においても、従業員は「お客様第一」のマインドを持ち、「お客様のニーズ」を起点に問題の発見・解決をするよう努めています。さらに、環境・社会課題への取り組みの一環として、認証木材やリサイクル資源の使用を推進。石油や水など限りある資源の使用量削減に貢献しています。製造業として、このようなサステナビリティに関わる内容は、重要な企業の責任と位置づけており、従業員向け研修においても、その重要性を伝達しています。

### 有償技術支援を経て、良かったこと・成長したこと・変化したことを教えてください。

「計画管理/現場管理レベルの向上」「仕事のプロセスの改善」「生産効率の向上」「KPIの可視化」など多くの変化と成長がありました。これに伴い、従業員の安全・安心への意識も明らかに向上しており、現場での事故・怪我の減少につながっています。また、生産・管理体制の変化は、生産コストの削減に直結します。効率化により削減できたコストの一部は従業員の給与に還元。更なるモチベーションの向上に寄与しています。

### 有償技術支援の経験を、今後どのように活かしていきたいか教えてください。

わが社の技術・品質面において活かすのはもちろんのこと、経験を通して学んだ「仕事に対する考え方」「製造者としての責任」「革新の重要性」などは、人材育成の面でも活かしていきたいと考えています。私たちは、書籍『成功の5原則』の中で似島会長が語っていた「ロマンがあったからこそ成功できた」という言葉に大変共感しています。わが社の使命は、「健康で快適な暮らしを人々に提供する」ことです。この考えは、ニトリグループが掲げるロマンとも通じるころがあります。今後も、わが社とニトリがお互いに成長を遂げ、永らくパートナーシップ関係が続くことを心から祈っています。

### 有償技術支援とは

ニトリグループでは、サプライヤーとともにより良い商品づくりを目指し、製造現場における「有償技術支援」を行っています。工程内の治具・工具管理の可視化、モジュール生産（中間在庫ゼロ化）により、トレーサビリティ体制を確立させる指導のほか、世界レベルの手法・技術の実務経験者が指導者となり、研修・講義を実施。二人三脚で、品質向上と人材育成に取り組めます。また、優秀なサプライヤーの工場見学を開催し、学びの環境の創出と、製造現場全体の技術向上を図っています。

